

いすみ

升

縄文の姫神

日本の女神はと尋ねられると“天照大神”（アマテラスオオミカミ）“伊邪那美”（イザナミ）“木花咲耶姫”（コノハナサクヤヒメ）…ウーン それから…。

白糸滝の駐車場入り口右手に『熊野神社』がある。ご祭神は“瀬織津姫”（セオリツヒメ）、姫の生年月日は勿論不明、縄文の頃の姫神であろう。縄文の時代といつても一口では言えないほど年月の幅がある。

彼女がその縄文のどの時代のどのあたりにいた神様だったのかも皆目解らない。が実存している“大祓の祝詞”（オオハラエのノリト）や古文書にはその名が出て来る。そこから辛うじて伺い知ることが出来るのは神道の祖とされている“天照大神”より古い時代、国という一つのまとまりが確立されていなかった頃に日本で崇められていた『水の神様』だということ。その後“天照大神”が時の朝廷の皇祖神としてトップの座に君臨したがため邪魔な存在となり、意図的に排斥され、古事記・日本書紀から抹消されてしまったこと。これは天武天皇、持統天皇の時代に行われたという。

邪魔となったこの女神の存在を消すことは記・紀のみならず日本全国の“瀬織津姫”

を祀る神社に祭神を変えることを強制したという。それは今から 1300 年位前からなんと、つい近代の明治時代まで続いていた。

しかしながら、時の権力の及ばぬ東国の“蝦夷（エミシ）”などでは密かに、いや半ば公然と、『水徳の神』『滝の神』『桜の神』『龍神』として祀られ続けて来ている。

眞偽の程は明らかでないが、“木花咲耶姫”＝“瀬織津姫” ??? の説も浮上している。

昨今私は、“瀬織津姫”をご祭神とするこの『熊野神社』が気になって仕方がない。

成る程、すぐ近くには富士山の靈水を濁々と落とす名瀑“白糸滝”がある。滝壺に龍神が潜んでいるかも知れない……まして桜の里がある……靈峰富士のお膝元……。

謎多きこの姫神に、勝手にロマンを広げる年明けである。

K・H



白糸の熊野神社

第61回 富士宮駅伝競走大会

走りぬけ富士山のもと、
たすきにつなげ皆の思い

富士宮市役所
START
6区間
32.8km

平成23年 2月13日(日)
午前10時スタート

雨天
決行



■主催:富士宮市/富士宮市教育委員会/NPO法人富士宮市体育協会
■主管:静岡陸上競技協会東部支部/富士宮市陸上競技協会
■後援:(社)静岡県観光協会/(社)富士宮市観光協会/富士宮工商会議所/静岡新聞社・静岡放送
■協力:富士宮警察署/交通安全協会富士宮地区支部/富士宮市交通指導員会

223の日イベント

ふじさん

平成23年
2月23日(水)

◆浅間大社灯回廊

浅間大社の参道・回廊に紙灯りを灯します。

◆白糸の滝 9:00 ~ 15:00

- ・駐車場料金無料
- ・オリジナルポケットティッシュプレゼント

お問合せ:富士宮市観光協会
TEL 0544-27-5240

かわどこ 日本一の遊び 川床の宴

会場:富士山本宮浅間大社参集所(湧玉池横)

時間:午後6時~8時

料金:3,776円(税込)

富士山の高さに
ちなんで
日本一お得な

- ・川床で日本酒飲み放題
- ・新鮮ニジマスのしゃぶしゃぶ
- ・芸者の三味線と踊り

同時開催

1. 日本一の地酒おもとめ会
2. 地酒ワンポイント講座
3. 日本一のニジマスコーナー

点から線へ

線から面へ



富士宮市には富士山を初めとして、白糸の滝、浅間大社、朝霧高原、田貫湖、富士五湖等々多くの観光地と名所旧跡が存在しています。

これらはみんな点として孤立して存在しています。折角富士宮市に来たお客様、幾つか見学したくてもアクセスがないのです。自家用車なら多少時間がかかるかも見学は出来るのですが、電車バスを利用して来た人にとっては誠に不便なのです。これは観光場所が広域に渡っている立地条件にもあるのです。せめて土日だけでも観光地を巡回するバスがあると点から線へと広がるのではないかでしょうか。

一例として北部で白糸の滝を中心に周辺を見てみると、狩宿の桜、高麗門、曾我神社、若獅子の塔、富士桜墓苑、人穴、田貫湖、朝霧高原、牛や羊の放牧場、朝霧道の駅、東海自然歩道、龍の大家、養鱒場、陣馬の滝、小田貫湿原、大倉ダム、朝日滝等その他民間の遊園地や博物館など数えあげればきりがない。

これらを結べば面としても考えられるのではないかでしょうか。市民一人一人がアイデアを出し合って富士宮市を活性化したいものです。

H・S

この店

「百姓のパン工房」

富士宮市総合福祉社会館の西、富士宮西高校の前に、『百姓のパン工房』という名前の可愛いパン屋さんがある。

自家製のお米の粉を使って、富士山の溶岩石で作った石釜で焼く遠赤外線効果でふっくら優しい、もっちりとした歯触りは“ゴハン族”をも納得させるようなパン屋さん。

何よりのこだわりは、無農薬の自家栽培の米を自家製粉し、自家製の石窯で焼き上げ、自らの店で販売と、自らが徹底的にすべてに携わった創意工夫のパンであること。

そんな大地の香りのするパン屋さんが、この年頭



にまた新製品を開発した。名付けて、『富士山しらゆきめん』雪のように真っ白でこしの強い米粉麺は、品のよいかすかな甘みと独特の食感が癖になりそう……。(何だろう? この味、あっ、そうだ、ベトナム料理の“ポー”だア~)

純和風のお米のおうどんなのに、エキゾチックな味付けや、イタめしパスタもありかも……。

ミニ・リビーターになった私は、事のついでに、ちょっと一言。(オフレコだよ!) (ほんのりと桜色に染まった『このはなさくやめん』(木花咲耶麺) な~んてのもあったら嬉しいわア♡♡♡)

K・H

岩本山梅祭り

日時所
…平成23年2月11日(金)～25日(金)
※2月27日(日)は、第12回松北地区梅まつり



問合せ：新富士駅観光案内所
TEL.0545-64-2430
(受付時間 8:45～17:30)
<http://www.fujisan-kkb.jp/>

「富士市」↔「富士宮市」

期間限定観光周遊バスを運行します。

■ 運行日	■ 運賃
2月11(金)～13(日)	一日乗り放題
2月18(金)～20(日)	500円
2月25(金)～27(日)	(小学生半額)

開催イベント

- ～富士山の日記念イベント～ 観梅ウエディング 2011
- ～着物でしづらりと梅園を歩いてみませんか？～ 着物 DE 岩本山
- ～観光ボランティアさんとぶらり旅～ 梅先案内人
- ～あつたかメニューでおもてなし～ 岐の屋台村
- 観梅コンサート
- 富士山の日記念植樹

富士山に負けない - 文化的町づくりを -

富士山がご神体の浅間大社で、富士宮が始めてと言われるお客様にガイドをする時、富士山の一番高いところが3,776mの剣ヶ峰、富士宮口五合目から登りつめた先に富士山本宮浅間大社の“奥の宮”があります、山の八合目から上はここの大社の所有地ですから、この町は富士山のある町で富士宮市の大きな誇りなんです。と、一番にお伝えします。

気高く美しい富士山からの沢山の贈り物を頂いて暮す私たちは、物だけではなく富士山に負けない高い文化も育んできました。町には、画家、染色家、写真家、音楽家、陶芸家、書家、文筆家、切りがないほど大勢の芸術家が一杯です。

この人たちの作品に気軽に町角で出会えるようなアートの町、芸術文化の町づくりは出来ないものでしょうか? ガイドをしていると、富士山のカレンダーをその時節になつたら送って欲しいと良く頼まれます。私たちは富士山のあるこの宝の町で人ととの出会いもうそうですが、素敵な作品との出会いを夢見ています。この町の素晴らしいを何時も思っている私です。

R・K